

季節風

2016. 5. 25

NO.9

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

体育大会「限界突破」！

二十二日(日)、第四十五回体育大会が行われました。快晴のもと、生徒の一生懸命に競技や演技、そして応援する姿がグラウンドでたくさん見られました。短い練習期間でしたが、各団の団長を中心に、暑さやきつさに耐え、本当によく頑張りました。

生徒の頑張りは、被災された家族や親戚、友だちがおられる保護者や地域の方々にも、きつと元気と勇気を持って帰っていただくことができたのではないかと思います。

さて、「具象以前(ぐしよいういぜん)」という言葉があります。これは、私が中学生の時、国語の授業で出てきた言葉です。具体的な形になる前には、様々な混乱や苦勞が

あります。その混乱や苦勞を乗り越えたところに目指している姿や形が見えてくる、というような意味だったと思います。体育大会に取り組む生徒の姿を見ていて、この言葉をふと思い出しました。

つまり、体育大会当日も大事だけれど、この日を迎えるまでの過程にも、大会当日と同じくらい大事なものがあるといふことです。

体育大会を成功させるために、その過程である練習を大切にできたからこそ、すばらしい形を創り上げることができたのだと思います。

あと一ヶ月で中体連、一ヶ月後をどのように迎えるかは、まさに今からの過程が大切です。一日一日が真剣勝負。頑張りを期待しています。

御来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、生徒の一生懸命な姿に温かい声援をおくって下さり、ありがとうございました。また、準備や片付けにもご協力いただき、ありがとうございました。



◆お知らせ◆

鹿北中のホームページに体育大会の頑張りをアップしています。ぜひご覧下さい。
鹿北中学校教育情報と入力すると入ることができます。